

# 平成29年度 予算・市政方針で要望

## 国家戦略 京都創生 実現に向けて

自由民主党京都市会議員団は、平成29年度京都市予算及び今後の市政方針と運営に対する要望を門川市長に提出しました。

### 次世代に誇れる 強い京都市に！

平成29年度の予算は、京都市がこれまで積み上げてきた成長戦略である「はばたけ未来へ！京プラン」の

後期実施計画を力強く前へ進め、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けて、確実に未来へとバトンタッチ

手していくための重要な予算編成となります。文化庁の京都全面移転決定を契機として、京都の持つ風土と歴史的・文化的な価値を守り活かしながら、東京一極集中を打破し、人口減少社会に果敢に挑戦する施策を実施する必要があります。

今春3期目に入った門川市政に対しては、行財政の構造改革を更に強力に推進しながらも、積極性をもって歳入増を目指した今後の

京都の発展に寄与する事業立案と予算編成が非常に重要である、と指摘するものです。



門川市長に要望書を手渡す自民党議員団

応え得る要素を盛り込んだこれら主要望を、市長部局がしっかりと受け止め、具体的な取組・施策に反映されるよう強く求めてまいります。

### 常任委員会別の要望(抜粋) すべての方策で責任と安心の未来に

■経済総務委員会 文化庁等の全面的な京都移転決定後の取り組み。民泊増加による対策、市庁舎等公共建築の工費について情報公開と市民理解を得ることなど38項目

■まちづくり委員会 一歩くまちな「京都」の一層の推進に向けた新しい交通システム導入や、周辺交通不便地域の改善、安心・安全の重要な橋りょうの耐震化や修繕、災害に強い治水対策など24項目

■くらし環境委員会 地域自立分散型再生可能エネルギーや省エネの更なる普及拡大、家庭・事業ごみの減量、子ども達の文化力育成やスポーツ施設の整備・改修、地域コミュニティ活性化、安心・安全のまちづくりなど22項目

■交通水道消防委員会 市バス周辺の交通不便地域の見える利便性向上策、局地的大雨や集中豪雨に備えた浸水対策、安定的な上下水道運営、老朽管の取り替え工事の推進、消防団への加入促進・充実強化など20項目



またきち (京都市会マスコットキャラクター)

### 美術館問題を契機として

京都市美術館の老朽化に伴う大規模改修については、100億円以上かかると言われていた費用のうち50億円程度を命名権の売却で賄うこととなりましたが、この問題を契機として、議会では喧々諤々の議論が展開されました。今後こうしたネーミングライツによる予算獲得の方法や整備手法に

# 自民党 京都市会議員団 ニュース

平成28年(2016)11月13日発行

■発行人/井上与一郎  
■編集委員/田中明秀、棕田隆知、しまもと京司  
〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
http://jimin-kyoto.jp/



### 行政区別の要望(抜粋)

#### 地域に根差した うるおいある 住環境を

■北区 御園橋架け替え工事と上賀茂神社への周辺道路整備に併せた交通渋滞解消の更なる取組など10項目  
■上京区 寺之内通小川の北西角公園の周りの景観に配慮した整備、京都御苑周辺歩道の更なる安全対策など5項目  
■左京区 請願が採択されている花背峠のトンネル化、大規模校である洛北中学校の施設整備など8項目

■中京区 細街路における電柱の地中化や高瀬川水辺環境など地域の魅力を再生し活用する取組など5項目  
■東山区 小河川の局地的豪雨等への対策、道路の石畳地域の拡大、三条白川通の早急な整備など3項目  
■山科区 市が責任をもつて低下しているバスの利便性向上に努めることなど3項目  
■下京区 高瀬川の再生・水辺環境整備や、梅小路公園の施設改善及び丹波口・京都駅間新駅の建設など7項目  
■南区 まちづくりについて

て、西大路駅や向日町駅東側、生活道路や交通不便地域、西大路十条の広大な工場跡地の問題など7項目  
■右京区 歴史的街並みを残す為の無電柱化の促進、嵯峨・京北地域等の有害鳥獣対策の強化など5項目  
■西京区 区民待望の地下鉄東西線延伸、市立芸大移転に伴う跡地活用、第二外環の側道整備など11項目  
■伏見区 JR稲荷駅の西側に隣接する市有地を活用し、環境整備に早急に取り組むことなど9項目



マタリヌ (京都市会マスコットキャラクター)

京都市美術館の老朽化に伴う大規模改修については、100億円以上かかると言われていた費用のうち50億円程度を命名権の売却で賄うこととなりましたが、この問題を契機として、議会では喧々諤々の議論が展開されました。今後こうしたネーミングライツによる予算獲得の方法や整備手法に



# 文化庁・京都移転決まる！

## 京都から文化発信

### 地域文化創生本部設置へ

山科区

#### 富きくお議員

■富きくお議員（質問）京都では昭和の時代からオール京都で、政府に要望し、市会も意見書等で文化庁の移転を求めてきました。我が国で初めて中央省庁の移転であり、課題も多いですが本市として果たすべき役割や移転に向けた市長の決意をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）永年の取組が国の英断により実を結んだものであり、これからの取組が非常に大事であります。来年度から先行移転として

#### 富きくお議員の質疑項目

- 1 平成27年度決算に対する見解と今後の財政運営について
- 2 文化庁の京都移転について
- 3 京都市美術館の再整備について
- 4 ICOM（国際博物館会議）京都大会の開催について
- 5 来春新設の「子ども若者はぐくみ局（仮称）」について
- 6 河川整備（山科区の安祥寺川・四宮川）について
- 7 市内周辺部におけるバスの増便、バス待ち環境の改善について（要望）

本市に設置される「地域文化創生本部」に本市も積極的に参画し、京都の特性を最大限に生かして、文化の力で日本を元気にし、世界の平和に貢献する新たな文化行政の実現に全力で取り組みます。

#### 子どもは地域の宝はぐくみ文化に

■富きくお議員（質問）今回の局の再編は職員数も九百人程度を想定しており、大規模な組織再編となりますが、その基本理念となる「はぐくみ文化」に込める市長の思いをお聞かせください。

また区役所の窓口再編もわかりやすく、相談しやすいようハード面の整備を行い「子育てコンシェルジュ」職員の着実な育成が重要と考えますが、いかがですか。

■門川大作市長（答弁）地域と行政とが一体となり、「子どもを地域や社会の宝として大切にはぐくむ生活文化」を「はぐくみ文化」として創造し、全国に発信します。市民にわかりやすい分野別の窓口を設置し、レイアウト

も工夫します。窓口でワンストップサービスを提供できる職員を育成します。

#### 府市協調により台風被害復旧へ

■富きくお議員（質問）3年前の台風18号の際、山科区内で安祥寺川、四宮川で多数の家屋浸水や地下鉄への流入による運休など、大きな被害が発生しました。府市協調により、両河川改修が決定しましたが、早期完成へのスケジュールと工法について、お



台風18号で浸水した御陵駅（京津線）

伺います。  
■小笠原憲一副市長（答弁）

どの応急的な対策を府が実施します。本来府が行うべき安祥寺川については、市が費用を負担して安心・安全を早期に確保します。安祥寺川は現河川の地下に水路トンネルを整備し、四宮川では河床を掘り下げ、工事ですが、長期間にわたるため、護岸のかさ上げなどの応急的な対策を府が実施します。

# 京都マラソン優勝メダル

## 家電製品より生成

### レアメタルを見える化活用

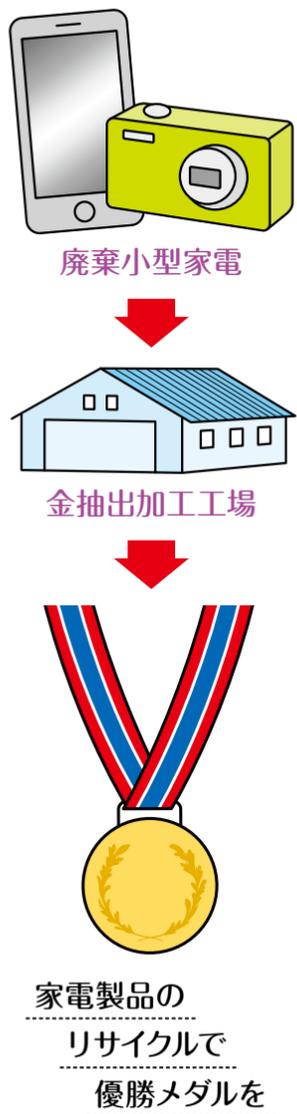
伏見区

#### 繁隆夫議員

■繁隆夫議員（質問）家電製

品の中には、金などの貴金属やレアメタルと呼ばれる有用な金属が多く含まれていることから「都市鉱山」とも言わ

れています。東京オリンピック・パラリンピックに先駆けて、この「都市鉱山」を市民の皆様が身近に実感しやすいスポーツの分野で活用し、リサイクルを「見える化」した分別促進のモデルを、この京都から発



#### 繁隆夫議員の質疑項目

- 1 都市鉱山の活用について
- 2 らくなん進都内の公有地（京都拘置所、京都運輸支局等）活用について
- 3 東京オリンピック・パラリンピックに向けた子どもたちの競技力向上について
- 4 伏見区向島地域での小中一貫教育校の創設について
- 5 京都市の今後の都市農業振興について
- 6 繁華街における客引き行為の対策について
- 7 住宅用火災警報器の設置に係る取組の成果と今後の火災減少対策について

信すべきだと考えますが、いかがですか。

#### 部活動指導現場アスリート活用

■門川大作市長（答弁）リサイクルをより一層推進するためにはその見える化が鍵であると考えており、市民の皆様が排出された小型家電、いわゆる都市鉱山から回収した金を100%使った京都マラソンの優勝メダルを作成する全国初の取組を、2018年大会に向け実現して参ります。

#### 公有地跡地活用11月に国に要望

■繁隆夫議員（質問）市有地

以外の公有地活用を検討する「庁内検討チーム」を発足させ、「京都拘置所」「京都運輸支局」については、国に移転や跡地活用を求める検討をしていると聞きます。これらも更に踏み込んだ取組が必要だと思いますが、お考えをお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）京都

拘置所及び京都運輸支局の敷地はらくなん進都の北の玄関口に位置する広大かつ貴重な土地であり、この土地を活用することで、らくなん進都のまちづくりの理念である「新しい京都を発信するものづくり拠点」を一層加速できると認識しております。当該敷地は国有地であるので、今後、検討を進めていくためにも、11月には移転検討を国に対して要望し、本市の思いをしっかりと発信して参ります。

■繁隆夫議員（質問）市立中学校や高校では、今年度から外部コーチ制度の拡充にも取り組まれるなど、指導者不足に悩む学校現場での声も踏まえながら部活動充実にも取り組んでおられますが、今後、より一層、児童生徒の競技力向上に繋がる取組を検討していただきたいと思いが、いかがでしょうか。

■在田正秀教育長（答弁）各

競技団体や地域のスポーツクラブ等との連携を一層深め、トップアスリート等による子どもたちへの指導の機会をさらに増やすとともに、指導者研修会を定期的に開催するなど、児童生徒の競技力の一層の向上に向け取組の充実を図って参ります。

【代表質問】 9月市会 (9月29日)

# 手話通訳員等窓口対応充実へ

## 手話言語条例制定

### ろう者の暮らしの改善に

#### ●西京区

#### 西村義直議員

■西村義直議員 (質問) 手話を第一言語とする、ろう者の暮らしがより良くなるよう取組をしていくことが大切でありどのように実施されるのかお示しください。

■門川大作市長 (答弁) 今年3月、手話言語条例が市議員全員の提案で制定されましたことに、心から敬意を表します。まず、行政窓口での対応の充実を図るため、これまでも区役所等に配置している手話通訳員による支援に加えて、手話研修の更なる充実等により、今後とも、「手話は言語」を合言葉に、手話言語条例の理念である共生社会の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。

#### 土砂災害区域のリスク周知徹底

■西村義直議員 (質問) 安心安全を最優先に災害に強いま

ちづくりを目指す京都市の土砂災害対策について、現在の土砂災害警戒区域の進捗状況を伺います。

■門川大作市長 (答弁) 京都府と連携して、土砂災害警戒区域等の早期の指定を進め、住民の皆様が土砂災害の特徴や、地域でのリスクを十分に周知することが重要で、現在、市内2,543箇所の危険箇所のうち8割を超える2,119箇所を既に土砂災害警戒区域等とし、すべての土砂災害警戒区域及び特別警戒区

#### ●西村義直議員の質疑項目●

- 1 京都市手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例(京都市手話言語条例)制定後の取組について
- 2 京都御所など通年公開に伴う観光促進について
- 3 土砂災害対策の現状と課題について
- 4 今後の水道事業運営と地域水道事業について
- 5 都市緑化と緑の文化首都京都について
- 6 西京区の活性化について

域の本年度中の指定と、住民の防災意識を高めるとともに、安全な避難場所や避難経路の確保など、警戒避難体制の整備を進めてまいります。

#### 市民が楽しめる庭園緑化推進へ

■西村義直議員 (質問) 「おもてなし緑化」に着手し、道行く人々が気楽に楽しむことが



庭園文化の緑化推進(無鄰菴)

を設え、緑の伝統文化「庭園」を呼びかける絶好の機会であると考えますが、市長は、どのようにお考えになりますか。

■門川大作市長 (答弁) 平成25年度からは、それまでの5千万円の予算を10倍の5億円に増額し、西村議員御提案の庭園文化など、伝統的な造園技術を継承されている方々をはじめ、緑に関わる市民の皆様と一緒に、庭園文化を取り入れた「緑の文化首都・京都」を目指したまちづくりを進めてまいります。

# 自転車保険の加入義務化へ

## 政令市初の取り組み

### 京都の実情に沿った制度を

#### ●中京区

#### 加藤昌洋議員

■加藤昌洋議員 (質問) 自転車保険への加入義務化はなかなか実際の加入増加には繋がらず、苦悩している自治体もあると聞いております。京都市における、自転車保険への加入義務化においては、様々な関係団体との協力も含め、実情に沿った画期的で実効性

のある制度が必要だと考えますが、京都市としての考えをお聞かせください。

■門川大作市長 (答弁) 自転車

【自転車事故高額賠償事例】  
(加害者：小学生, 被害者：高齢者)

賠償額 **9,521万円**  
(平成25年 神戸地裁)

賠償額は年々高額に

#### 磁気誘導ループの積極的な広報普及を

■加藤昌洋議員 (質問) 今後の京都市において、私が提案した内容(「T付き耳マーク」の表示や補聴器販売会社との連携等)を含め、どのように磁気誘導ループの利用を図られるか、具体的な内容を含めてお答えください。

■藤田裕之副市長 (答弁) 磁気誘導ループについて説明したリーフレットを作成し、イベントでの配布や補聴器販売店等の協力を得て周知するほか、「T付き耳マーク」を表示し、施設での利用を図ってまいります。また、本市主催する会議等では、率先して

#### 新しい公共交通の検討について

■加藤昌洋議員 (質問) 今後の京都のまちづくりを考えるうえで新たな公共交通については将来を見据え、取り組みでいく必要があります。四条通歩道拡幅事業等での経験を活かし、どのように前進させていくのか、お考えをお聞かせください。

■門川大作市長 (答弁) 様々な取り組みを通じて、未来の京都にふさわしい公共交通の在り方について検討を進めるとともに、事業の実施に際しては、四条通等の経験を活かし、様々な立場の方と議論を重ねつつ、市民の皆様に対して、事業の目的や意義について、しっかりとご理解を頂きながら取り組んでまいります。

#### ●加藤昌洋議員の質疑項目●

- 1 聴覚障害者の補聴設備である磁気誘導ループの活用について
- 2 四条通歩道拡幅事業の総括及び今後の展開並びに新たな公共交通への取組について
- 3 市営地下鉄・バスにおける交通系ICカードの活用について
- 4 自転車に関する保険の義務化について
- 5 三条通七本松から六軒町区間の歩道拡幅計画について
- 6 中京区東部地域における保育園の新設について(要望)

**北区 小林 正明**

「歓迎・文化庁京都移転」。決定した当時、大変な喜びが京都に拡がりました。しかし、その責任の重さ、具体的な受け入れ体制、更に運営面など大きな難題が山積。まさに正念場。

**上京区 中村三之助**

当面は、地域文化創生本部を中心にスムーズな移転を進め、京都への移転が日本国全体として「良」と国民に認めただけのように、オール京都で協力していきましよう。

**中京区 津田 大三**

文化庁の移転は、私自身、オール京都の一員として、総理はじめ各大臣等に直接要望をさせて頂きました。歴史的意義も大きく、その責任をしっかりと果たして行く決意です。

**東山区 平山たかお**

文化首都京都に文化庁が移転することは計り知れない波及効果が本市にもあると考えます。これを契機に文化行政の更なる発展、京都創生の方策を議論し、進めて参ります。

# 文化庁

# 京都移転決定を受けて

## 地方創生への重要施策である省庁の移転、ついにこの京都で実現！

「日本の文化首都である私たちの京都へ」

先般決定した文化庁の京都移転について、これからの取組や役割、効果、文化と市民のかかわり等について自民党京都市議員団20名に聞きました。



皆さんの  
ご意見・ご要望を  
お寄せ下さい

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
自民党京都市会議員団  
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

**北区 山本 恵一**

明治以降で初めて京都に中央省庁が存在する利益を実感できる機会となり、その遂行にプラスになる事は、あらゆる可能性を考えて実行し、文化芸術によるまちづくりを進めていきたい。

**上京区 寺田かずひろ**

文化庁の京都移転を歓迎すると同時にその大きな責任を受け止める為には、今後より一層京都市の文化行政レベルを高める必要があります。議会も緊張感を持ってその一翼を担いたい。

**中京区 加藤 昌洋**

京都では、以前より文化芸術が大切にされてきました。文化庁移転を契機として、既存施設の維持管理だけでなく、活用や新しい文化芸術の発展に向け議論してまいります。

**山科区 富 きくお**

我国で初めての中央省庁移転。移転はオール京都の熱意と国の英断の賜。文化の力で京都も日本も元気になるよう諸課題を克服し、その役割をはたしてゆかなくてはなりません。

**南区 椋田 隆知**

芸術創作活動・国際文化交流の振興、文化財・著作権等の保護、国語の改善・普及・施策、宗教に関する事務を行う文化庁が、京都市に移転されることの意義を、市民ぐのみで考えましよう。

**右京区 田中たかのり**

日本文化の中心である京都への文化庁移転は、日本文化の発信という点で大きな意味がある。また同時に、東京へのあらゆるものの集中を改めるきっかけにもなる。

**西京区 西村 義直**

文化財の宝庫とも言える京都に文化庁が移転することは、京都の都市格向上や文化財を護るうえでも相応しく、国内外から京都を訪れる方々の増加につながるよう取り組みます。

**伏見区 みちはた弘之**

文化庁全面移転を機に、東京一極集中の解消を目指し、少子高齢化・人口減少問題に挑戦するために、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」に真摯に取り組んでまいります。

**下京区 下村あきら**

オール京都で取り組んできた文化庁の京都への移転。様々な歴史と伝統に育まれた千年の都、京都ならではの文化力を基軸に、更なる府市協調で新たなまちづくり・国づくりの契機に。

**右京区 井上与一郎**

京都創生が叫ばれるなか、東京一極集中を打破する文化庁の本市への全面移転は大変名譽なこと。文化の保存・創造・継承・発展に寄与できるよう市民の皆様とともに取り組みます。

**西京区 田中 明秀**

移転したら文化行政が停滞したと言われることのないよう、更なる府市協調で移転整備をするともに、東京一極集中は正・地方創生の見本となるよう取り組んでまいります。

**伏見区 橋村 芳和**

「世界の文化首都・京都」の実現に向けて大きな一歩。また明治維新から一五〇年。東京一極集中を打破し、地方創生の魁に！京都市会の果たす使命と責任は重い。

**山科区 吉井あきら**

文化庁京都移転決定!! 地方創生は国の目玉政策!! 国、府、市が一体となり「地方創生」を成功させなければなりません。京都市そして議会も更なる京都発展の為全力を尽くして参ります。

**南区 しまもと京司**

これまで文化的な隔たりや地域間格差があった京都においても、すべての人が等しく文化的な生活を享受し、文化力をもって国の発展を牽引する私たち京都の力が試される時です!

**右京区 森田 守**

文化庁京都移転を契機に、歴史、伝統に培われた文化だけでなく、現代文化をはじめとする幅広い文化の振興に努め、併せて京都市民、府民の文化力向上を図らなければなりません。

**伏見区 繁 隆夫**

京都の悲願ともいえる文化庁の京都移転が決定した。これから、具体的な移転先、職員の受入れ、建設費用負担等の問題もあり、しっかりと協議検討して文化庁の移転を進めること。